

## 平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定)・実施結果)

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上と学習習慣の確立を目指す。</li> <li>・上級学校への意欲喚起を図る。</li> <li>・学校の特色である国際理解教育をさらに深化させるための事業を推進する。</li> <li>・学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</li> </ul>	<p>①確かな学力と学習習慣の定着に向けた取り組みの組織的・計画的な充実を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する授業について研究し、授業改善に取り組む。</p> <p>②外部試験等を活用した英語力の向上や国際交流の成果共有により、国際理解教育を推進する。</p> <p>③生徒による学校行事や生徒会活動の主体的な運営により、自主性を育て達成感・有用感を醸成する。</p>	<p>①EBS（朝の学習）及び ALC（発展的な学習）の充実を図り、家庭学習を定着させ進路実現につなげる。</p> <p>①「マイレージ通信」を発行し、生徒の意欲を喚起するとともに外部での学習機会の紹介等情報発信に努める。</p> <p>①高大連携プログラムの活用を推進し、大学の出前授業等を計画し、生徒の各分野への興味関心を促す。</p> <p>①生徒に身につけさせたい学力を職員全員で共有し、教授法や教材を工夫し、教職員のスキルアップ研修会を行う。</p> <p>②実用英語技能検定試験で 2 年準 2 級、3 年 2 級の取得を推進する。</p> <p>②GTEC Advanced の受験者数を増やし、500 点以上取得者数目標を全校の 7.5% とする。</p> <p>②姉妹校交流報告会、国際理解講座と国際交流委員会による研究発表を実施し、成果を共有する。</p> <p>③学校行事や委員会について生徒への事前の細やかな助言指導により主体性を育成し課題解決能力を養う。</p>	<p>①実施回数や参加生徒数、生徒の取組状況、内容。</p> <p>①発行回数、内容の充実によって主体的な学びへとつながったか。</p> <p>①参加生徒数。履修状況の改善。主体的な学びの姿勢や進路実現につながったか。</p> <p>①公開授業や授業互見研修の実施と「双方型授業」「参加型授業」の実践的取組数。</p> <p>②英検準 2 級、2 級の受験者数と取得者数。</p> <p>②GTEC Advanced の受験者数やスコアの目標値達成状況。</p> <p>②報告会後のアンケートの分析と外部への情報発信ができたか。</p> <p>③生徒と担当職員とのコミュニケーションを深め、課題解決への意識を持たせることができたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々に応じた、支援体制の充実を図る。</li> <li>・生徒の規範意識の醸成を図る。</li> <li>・部活動の活性化を通して責任感や連帯感、感謝の気持ちの涵養を図る。</li> </ul>	<p>①学習面・生活面での支援を必要とする生徒の情報把握・共有により、組織的で機動的な教育相談体制や生徒支援体制の充実を図る。</p> <p>②生徒の行動や活動を積極的に評価することにより生徒の規範意識を高める。</p> <p>③部活動の活性化に努めるとともに、地域貢献活動等の主体的な活動を促進する。</p>	<p>①年間 2 回の全校集会、5 回の生徒指導週間などを通じて基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>①個別面談の充実やスクールカウンセラーとの連携を図る。</p> <p>②活き活き学校生活推進運動を 3 回行い、それぞれに目標を掲げ、良好な学校づくりにより指導件数減少を目指す。</p> <p>③部長会や部活動集会等で、活動の運営方法や地域貢献活動への取組を検討することにより部活動の活性化を図り、また取組の継続性が確保できるよう助言を行う。</p>	<p>①生徒の学校生活の状況。</p> <p>①スクールカウンセラーの活用実績及びケース会議の開催数。</p> <p>②安心、安全、活き活きとした学校生活を過ごせるような学校づくりにより指導件数がゼロに近づいたか。</p> <p>③部活動の主体的な活動の取組状況や、取組の継続性が確保できるように助言指導ができたか。</p>

3	進路指導・支援	生徒の自主・自律の精神の涵養を図り、卒業後の希望進路実現に向けて、積極的に社会参加するための能力と態度を育成する。	<p>①3年間を見通したキャリア教育計画を示し、個人進路データの有効活用を図りながら、きめ細かいキャリアガイダンスに取り組む。</p> <p>②総合的な学習の時間やインターンシップ等の活動記録を活用したキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>①3年間のキャリア計画、年間指導計画に基づいたガイダンスや講演会を実施する。</p> <p>①3年間通して個人のキャリア活動を記録できる様式を作る。</p> <p>①業者模試のデータを有効活用する。</p> <p>②インターンシップ、「仕事の学び場」への参加を促す。</p>	<p>①ガイダンス、講演会の実施回数。</p> <p>1 記録用紙の集約数</p> <p>①業者模試等の進路データを活用した面談の件数。</p> <p>②インターンシップ、「仕事の学び場」の参加者数と学校で開拓した受け入れ先の実数。</p>
4	地域等との協働	積極的な情報発信や貢献活動を展開し、保護者や地域の期待に応えるとともに、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。	<p>①中学生や保護者、地域の方の期待に応えるための積極的な情報発信、学校公開に取り組む。</p> <p>②学校運営協議会を設置し、保護者や地域の方と連携・協働した活動を通して、コミュニティ・スクールとして信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>①学校説明会の実施形態を修正し、本校の魅力を様々な側面から伝え、第1回説明会は800名、第2・3回は400名の参加者を目標とする。</p> <p>①工夫された授業を公開し、本校保護者だけでなく、中学生にもアピールする。中学生100名の参加者を目標とする。</p> <p>①ホームページを活用し、積極的な情報発信を続ける。週1回程度の更新を目標とする。</p> <p>①PTAと連携し、相模原地区交通安全大会に参加、積極的な役割を果たす。</p> <p>②学校運営協議会を設置し、保護者や地域と協働した活動を行う。生徒全員参加以外の活動を10種、のべ300名の参加者数を目指す。</p>	<p>①学校説明会、公開授業への参加者数及びアンケートの分析、ホームページの更新回数。</p> <p>①体験部活動への参加者数。</p> <p>①生徒が参加した活動の数、参加した生徒数、本校が主催する活動への地域の方々の参加数等。</p> <p>①相模原地区交通安全大会への生徒の参加状況・アンケートの分析。</p> <p>②保護者や地域と連携して取り組んだ内容及び回数。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>・教職員の資質能力、専門性の向上を図る。</p> <p>・事故・不祥事防止と危機管理意識を高め、安全で安心できる教育環境の整備を推進する。</p>	<p>①教育力継承と人材育成に向けたナレッジマネジメントの推進と、事故防止会議等の活用による風通しの良い職場づくりにより、学校運営のチーム力向上を図る。</p> <p>②学校図書館等を含めた教育環境の整備や防災訓練実施等により安全・安心な学校づくりに取り組む。</p>	<p>①教員を主体とした事故防止研修会を年間で6回実施する。</p> <p>①グループリーダーを中心としたグループ間の連携と適切な役割分担による業務の効率化を図る。</p> <p>①全教科の定期試験の共通化を70%以上の実現を図る。</p> <p>②学校施設・設備の整備改善を行う。</p> <p>②防災訓練により生徒の防災意識を高める。</p> <p>②DIG訓練の実施</p> <p>②学校や生徒、保護者と連携した教育環境の整備を行う。</p>	<p>①研修の実施回数と内容の充実による事故不祥事の件数をゼロとする。</p> <p>①サブリーダーの配置による業務の効率化が図られたか。</p> <p>①共通試験の達成率</p> <p>②施設・設備の補修状況。</p> <p>②各施設のレイアウト、利用方法の改善状況。</p> <p>②生徒によるDIG訓練により避難方法の具体的な確認がとれたか。</p> <p>②協同作業や計画的な環境整備の実施回数</p>